

氏 名	職 名	学 位
小泉 昌幸	教授	体育学修士

担当科目	健康教育法Ⅰ、健康教育法Ⅱ、健康教育法Ⅲ、運動学Ⅱ 文化政策と公衆衛生、スポーツ政策概論、スポーツ表現（サッカー/ソフトボール/テニス）スポーツ指導法（サッカー/野外運動）、コース演習Ⅰ/Ⅱ、総合演習Ⅰ/Ⅱ、卒業研究Ⅰ/Ⅱ
研究分野	スポーツ方法学、学校保健
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ産業学会、日本コーチング学会 日本スポーツ教育学会、日本学校保健学会

学会および社会における主な活動	
北信越大学サッカー連盟 参与 第7回大学フラッグフットボール全国大会 2019 実行委員会実行委員	
主要研究業績	
「高等学校における「保健」授業の理解の程度に関する一考察 -教職専攻学生の調査から-」尚美学園大学教職課程年報第5号	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
真下 英二	教授	修士（法学）

担当科目	政治学の基礎、基礎演習、現代社会と政治、地方自治論、公共政策演習（地方自治論）、まちづくり政策論、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、日本政治論、総合演習、卒業研究
研究分野	政治学、日本政治、地方自治
所属学会	日本政治学会、日本選挙学会、日本行政学会、日本法政学会、日本経済政策学会

学会および社会における主な活動
川越市 総合計画審議会委員 川越市 協働事業審査委員会委員 川越市 生涯学習基本計画審議会委員 川越市 事務事業評価外部会議 評価人リーダー 川越市 教育委員会 教育振興基本計画点検評価懇話会委員 川越市 公の施設指定管理者選定委員会委員 日高市 市民参加推進会議 会長 NPO 法人 子ども大学かわごえ 副理事長
主要研究業績
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

氏名	職名	学位
大野 好司	教授	修士(学術)

担当科目	教職概論、キャリアデザイン A・B・B1・B2、日本語リテラシー I・II、基礎演習、介護等体験事前指導 I
研究分野	教育経営学
所属学会	日本教育経営学会

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県高等学校長協会理事として、担当する坂戸ブロック 8 校(高 5・特 3) 校長に対し、年 3 回の研究協議会を主宰し、当面する課題等について協議し、指導助言した。 ・埼玉県立総合教育センターの「令和元年度 『主体的・対話的で深い学び』を実現する校内組織マネジメントに係る調査研究」の研究協力校の校長として、総合教育センター企画運営担当指導主事及び研究協力校教頭・教諭を指導し、校内研究及びアンケート調査等の研究活動を実施した。研究経過は、研究報告書 第 417 号 「令和元年度 『主体的・対話的で深い学び』を実現する校内組織マネジメントに係る調査研究」中間報告 埼玉県立総合教育センター 企画調整担当 にまとめられている。 ・埼玉県立坂戸高等学校長として、埼玉県教育委員会「未来を拓く『学び』プロジェクト」における研究開発校として指定を受け、研究開発員の教員を指導し、研究公開授業を開催し、知識構成型ジグソー法の手法に基づく授業改善に取り組んだ。 ・埼玉県立坂戸高等学校長として、複数名の教育実習生を受け入れ、担当教員の指導、教育実習生に対する教職の心構え等の講義、研究授業の指導助言等に当たった。 	
主要研究業績	
なし	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
櫻井 光行	教授	博士（経営管理）

担当科目	「基礎演習」「サービス経済論」「顧客管理論」「現代の企業経営」「消費者行動論」「経済経営分析応用演習」
研究分野	マーケティング、ブランド論、消費者行動論
所属学会	日本マーケティング学会、日本広告学会、日本広報学会

学会および社会における主な活動	
日本マーケティング学会「物語マーケティング研究会」	
主要研究業績	
なし	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
佐野 慎輔	教授	文学士

担当科目	本年度はなし
研究分野	スポーツメディア、スポーツ史・オリンピック史・野球史、 スポーツ政策、スポーツビジネス
所属学会	日本体育学会、東京体育学会、日本スポーツ産業学会

学会および社会における主な活動	
<p>公益財団法人笹川スポーツ財団理事・スポーツ政策研究所上席特別研究員 NPO法人日本オリンピックアカデミー理事、公益財団法人B&G財団理事 一般財団法人日本モーターボート競走会評議員 一般財団法人日本スポーツフェアネス機構体制審議委員会委員、同表彰審議委員会委員</p> <p>早稲田大学非常勤講師（スポーツメディア論） 立教大学非常勤講師（スポーツメディア論、東京オリンピック・パラリンピック講座） 早稲田大学スポーツナレッジ研究所招聘研究員 共同通信社政経懇話会講師 （岐阜新聞、山陰中央合同新聞、北日本新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞にて講演） 大学講義（東京外国語大学、亜細亜大学、武蔵野大学、学習院女子大学にて講義） スポーツ立国推進塾（塾長：遠藤利明、副塾長：馳浩）運営委員</p> <p>産経新聞客員論説委員 新聞連載コラム（サンケイスポーツ、フジサンケイビジネスアイ =いずれも隔週水曜日掲載、尚美学園大学教授の肩書にて執筆）</p>	
主要研究業績	
<p>共著：「スポーツと地方創生」（創文企画・2019年5月31日） 「これからのスポーツガバナンス」（創文企画・2020年6月30日） 「スポーツフロンティアからのメッセージ」（大修館書店・2020年6月1日） 「オリンピック・パラリンピックを学ぶ」（岩波書店・2020年1月21日） 「日本のラグビーを支えた人びと」（新紀元社・2019年8月19日） 「スポーツ歴史の検証 オリンピック・パラリンピック残しておきたい物語」 （笹川スポーツ財団・2020年3月25日）</p> <p>インタビュー： 「スポーツ歴史と検証 スポーツを変革した人びと」 （笹川スポーツ財団・2019年版=森喜朗、遠藤利明、赤木恭平、 松浪健四郎、石原慎太郎、笹川陽平、堤義明=toto 助成事業）</p>	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
萩野谷 悦子	教授	文学士

担当科目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、異文化コミュニケーション、卒業研究
研究分野	英語教育、CALL (Computer Assisted Language Learning)、Extensive Listening / Extensive Reading
所属学会	Asia TEFL (Teaching English as a Foreign Language)

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県みなかみ町国際交流協会理事 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会川越市支援委員会委員（多言語対応部会） ・群馬県国際観光課ボランティア通訳・翻訳者 	
主要研究業績	
<ul style="list-style-type: none"> ・NHK テレビミニ英会話「とっさのひとこと」日めくりカレンダー2020年版／NHK サービスセンター（執筆協力）／2019年9月 	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
小野里 真弓	准教授	修士（スポーツ科学）

担当科目	スポーツマネジメント論，健康教育法Ⅱ，健康教育法Ⅲ，基礎演習
研究分野	スポーツマネジメント スポーツマーケティング
所属学会	日本体育学会，日本スポーツマネジメント学会，日本体育・スポーツ経営学会，北関東体育学会，日本スポーツ産業学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ◆北関東体育学会 監事 ◆群馬県スポーツ推進審議会 委員（副委員長） ◆第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会 施設整備専門委員会 委員（委員長） ◆伊勢崎市スポーツ推進審議会 委員（委員長） ◆群馬県指定管理者選定委員会 委員
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> ◆学会発表（口頭） <ul style="list-style-type: none"> ・「地域スポーツにおけるスポーツマネジメント研究の課題と展望」 小野里 真弓，菅谷 美沙都，江向 真理子，水上 雅子 令和元年9月 日本体育学会第70回大会 ・「スポーツ少年団のサービスプロダクトの検討 ～アクティブ・チャイルド・プログラムの今後の展開と可能性～」 江向 真理子，小野里 真弓，水上 雅子 令和元年9月 日本体育学会第70回大会
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
梶 孝之	准教授	博士（体育科学）

担当科目	スポーツ史、スポーツ指導法 D(野外教育)、レクリエーション演習 スポーツ方法・体づくり、スポーツ方法・陸上競技
研究分野	体育・スポーツ史、スポーツ産業史、体育方法学
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ産業学会、東北アジア体育・スポーツ史学会、 日本体育史学会

学会および社会における主な活動
<p>○学会活動 スポーツ産業学会スポーツ産業史専門分科会 幹事</p> <p>○社会活動 トレーニングルームスチューデントスタッフを採用し、指導を行っている。学生には、将来、トレーナーやクラブ運営等に携わりたいという希望を抱く者が多く、進路としての可能性を開拓する必要がある。そこで、尚美学園大学学生を組み込み、管理運営経験の場を創出すると共に、トレーナー資格取得に必要な勉強会を設定し、学生の学習成果をキャリアに結びつけようと試みた。今後の活動のコアとなるべく学生 20 名を採用した。</p> <p>○出張講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富国生命共催北方町総合体育館かけっこ教室、令和元年 6 月 15 日、『かけっこ教室』。 ・飯能南高校出前授業、令和元年 6 月 28 日、「スポーツの仕事」。 ・浦和学院高校出前授業、令和元年 7 月 9 日、9 月 7 日「体育学」。 ・川口東高校出前授業、令和元年 10 月 24 日、「体育学」。 ・西邑楽高校出前授業、令和元年 12 月 11 日、「体育学」。 ・飯能高校出前授業、令和元年 12 月 12 日、「体育学」。 ・八潮高校出前授業、令和 2 年 2 月 13 日、「体育学」。 <p>○尚美学園大学より、令和 2 年 2 月、ベストティーチャー賞を受賞した。</p>
主要研究業績
<p>○研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『日本運動具新報の記事分析について－昭和 23 年、24 年－』、令和元年 9 月、スポーツ産業学会スポーツ産業史専門分科会。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
荘 発盛	准教授	博士(経済学、大阪大学)

担当科目	春学期：基礎演習、コース演習Ⅰ、文化経済学、総合演習Ⅰ、卒業研究Ⅰ、経済学概論、経済学の基礎、国際経済論 秋学期：コース演習Ⅱ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅱ、ミクロ経済学、経済学の基礎、国際経済学 大学院：ミクロ経済論研究、国際経済論研究、修士論文審査（主査、副査）
研究分野	人的資本、国際貿易、環境
所属学会	日本経済学会 日本国際経済学会 日本経済政策学会

学会および社会における主な活動
<p>学会：</p> <p>1) Public Environmental Education and the Promotion of Environmental Goods and Services (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) 第54回名古屋国際経済研究会 Nagoya International Economics Study Group, NIESG School of Economics and Finance, QUT Business School, Queensland University of Technology (QUT) (令和元年5月13日)</p> <p>2) Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) Ryukyu Economics Workshop, 沖縄大学 (令和元年7月13日)</p> <p>3) Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) 日本国際経済学会 第78回全国大会 (令和元年9月28日、29日) 発表</p> <p>社会活動：</p> <p>新聞コラム執筆</p> <p>1) 星洲日報 社説：学者観点 荘 発盛 「群盲撫象」(令和元年4月8日)</p> <p>2) 星洲日報 社説：学者観点 荘 発盛 「老鼠愛大米2020」(令和2年2月22日)</p> <p>活動内容</p> <p>1) 台湾清華大学講演会(令和元年6月10日)</p> <p>2) 夏休み「日本・アジアでの国際交流勉強会」 主催団体：関西生命線 支援団体：公益財団法人三菱UFJ国際財団 講師：荘 発盛(令和元年8月18日～27日)</p> <p>3) 第25回 夏休み「外国人が異国で対応するための交流の集い」 ボランティア、(令和元年8月24日～26日)</p> <p>4) 台湾淡江大学教員交流、吳鳳大学訪問(令和元年12月9日)</p> <p>5) マレーシア芙蓉中華高校学校交流訪問(令和2年2月4日)</p> <p>6) マレーシア芙蓉中華高校講演会(令和2年2月6日)</p>
<p>主要研究業績</p> <p>Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) (数回に渡り学会発表などを経て、現在 International Economy 投稿進行中)</p>
<p>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</p> <p>令和2(2020)年度 基盤研究(C) (一般) (不採用) 研究者番号 60383353 所属研究機関名(番号) 32418 部局名(番号) 001 職名(番号) 0007</p>

氏名	職名	学位
仁木 康浩	スポーツマネジメント学部 専任講師	体育科学 修士

担当科目	トレーニング論, 運動学Ⅰ, 運動学Ⅱ, 教養スポーツ A, 教養スポーツ B, スポーツ演習 D (水泳), スポーツ方法・水泳, 基礎演習
研究分野	トレーニング科学, 身体動作学, 水泳水中運動学, コーチング学
所属学会	日本トレーニング科学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 東京体育学会, 日本水泳・水中運動学会

学会および社会における主な活動
<p>平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月：富山県水泳連盟 強化部競泳委員会 委員</p> <p>平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月：富山県高等学校体育連盟 水泳専門委員 研究部役員</p> <p>平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月：全国高等専門学校体育大会 水泳競技専門部地区委員</p> <p>平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月：(一社) 富山パレススポーツクラブ 水泳ジュニア指導者</p> <p>平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月：富山パレススイミングクラブ 競泳専門コーチ</p> <p>令和元年 9 月：東京都医科学サポート事業 カヌースラローム競技 医科学スタッフ</p> <p>令和元年 9 月：(公財) 日本水泳連盟水泳指導員養成講習会 講師・検定員</p> <p>令和元年 9 月：第 74 回日本体力医学会「Effects of Angled Streamline Breakout Faster than Horizontality Streamline Break out.」Takeharu Fujimori, Takahisa Ide, William, J. Johnson, Kazuo Funato, <u>Yasuhiro Niki</u></p> <p>令和 2 年 2 月：南砺市水泳協会「水泳協会員研修会」特別講師（講義・実技指導）</p>
主要研究業績
<p>令和 2 年 3 月：富山高等専門学校紀要（第 7 号）「富山高専（本郷）学生の体力調査（第 2 報）～平成 26 年度入学学生の縦断的研究～」<u>仁木康浩</u>, 日比端洋, 泉敏郎</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

(氏 名)	職 名	学 位
舟木 泰世	専任講師	修士(スポーツ健康科学)

担当科目	基礎演習、コミュニティスポーツ論、スポーツマネジメント、クラブマネジメント
研究分野	スポーツ社会学、スポーツ政策
所属学会	日本体育学会、日本生涯スポーツ学会

学会および社会における主な活動
<p>○社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大府市スポーツ推進委員（令和元年度） ・大府市スポーツ推進計画策定委員（令和元年度） ・公益財団法人日本スポーツ協会：2019年度スポーツ庁委託事業「スポーツ活動支援事業（総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けた支援推進事業）」中央プロジェクト委員（令和元年度）
主要研究業績
<p>○論文</p> <p>（単著）「わが国における地域スポーツ政策の変遷—近年の地域スポーツ政策に着目して—」『日本地域政策研究』第24号，22-29，令和2年3月</p> <p>（共著）「災害時の公共スポーツ施設のあり方—施設管理者の対応と指定管理者の選考・協定に着目して—」『2019年度笹川スポーツ研究助成』，12-18，令和2年3月，秋吉遼子・舟木泰世</p> <p>○著書</p> <p>『スポーツ白書 2020—2030年のスポーツのすがた—』，笹川スポーツ財団，令和2年3月，分担執筆（担当ページ174-175，191-193）</p> <p>○学会発表（口頭発表）</p> <p>（共著）「我が国のスポーツ振興施策の策定過程について—第2期スポーツ基本計画に着目して—」，日本生涯スポーツ学会第21回大会，令和元年10月，北翔大学，舟木泰世・野川春夫</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
宮坂 雄悟	専任講師	修士（教育学）

担当科目	「教育実習指導（4年保健体育）」「教職実践演習」 「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」 「スポーツ政策概論」「レクリエーション概論」「レクリエーション実習」 「教育実習指導（保健体育）」「介護等体験事前指導Ⅰ」 「スポーツ指導法B（雪上実習・スキー/スノーボード）」 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
研究分野	保健体育科教育学、スポーツ社会学
所属学会	日本体育学会、体育科教育学会、日本スポーツ社会学会、 日本体育・スポーツ政策学会、日本教育社会学会

学会および社会における主な活動
日本体育・スポーツ政策学会 広報運営委員 全国体育学習研究会 広報委員
主要研究業績
共同発表 The influence of intake the differences drinks on urinary electrolyte in the spectators under a hot environment. (2019年5月) 23st annual Congress of the European College of Sports Science (ECSS) (Czech: Prague Congress Centre), Book of Abstracts Iida T., Seki K., Takagi Y., Nishimura K., Miyasaka Y.
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
茂木 康嘉	専任講師	博士(スポーツ科学)

担当科目	スポーツ生理学, スポーツ医学 I・II, ジュニアスポーツ演習, 教養スポーツ C(卓球・バドミントン), スポーツ表現 B(バドミントン), スポーツ表現 C(サッカー), スポーツ表現 E(卓球), 基礎演習 I・II, コース演習 I・II, 総合演習 I・II, 卒業研究 I・II
研究分野	発育発達学, バイオメカニクス, トレーニング科学
所属学会	日本体育学会, 日本体力医学会, 日本発育発達学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本体育測定評価学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市スポーツ推進委員 ・教員免許状更新講習担当「体育・スポーツの理論と実践」
主要研究業績
<p>○茂木康嘉, 身長最大の発育速度年齢からみたアキレス腱長とアキレス腱横断面積の発育変化 (2019) 発育発達研究 84: 23-31</p> <p>○茂木康嘉, 中学生サッカー選手と野球選手における大腿直筋と中間広筋の筋厚発育の特徴 (2020) 第18回発育発達学会@宇都宮大学</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>科研費 若手研究 採択 「発育期における筋腱複合体の形状的・機能的特性と身体運動のパフォーマンスとの関連」</p>